

Ⅲ. プリンター付きストップウォッチの使用方法

プリンティングストップウォッチからのオートスタート時刻を転送し、スプリットタイムにより分秒を計時する。
プリンティングストップウォッチとグリップスイッチが無いことを除いて同様の使用方法です。

1) スプリットタイムでの計測

分秒のみプリンティングタイマーにより計時、左上のLAP/SPLITボタンを押した分秒が上段(スプリット)に表示されプリントアウトされる。また、データがメモリーされるので、後で再確認が可能。

1. 時刻を合わせる。

モード切替ボタンを押して時刻表示にし、LAP/SPLITボタン(左上ボタン)を押して、秒を点滅させ00秒でSTART/STOPボタン(右上ボタン)を押す。

その後LAP/SPLITボタンを押して、分・時・年・月・日・IDをセットし(変更する場合START/STOPボタンで数字を進めます)最後に点滅が消えれば時刻合わせは終了。

※注意、時刻表示で誤ってLAP/SPLITボタンを押してしまうと、時刻合わせになってしまいます。

2. オートスタート時間を転送する。

①プリンティングストップウォッチでオートスタート時間を設定したら、ストップウォッチとプリンターを接続しているコードをプリンターより外してプリンティングストップウォッチのオートスタート用ジャックに接続する。

②ストップウォッチのメモリーを以下の要領でクリアします。

ストップウォッチをリセット(ストップウォッチ表示モードで表示が0の状態)した後、RECALLボタン(真上のボタン)押し、LAP/SPLITボタン(左上ボタン)を1.5秒以上押し、ピー・ピーと音がしたらボタンを放す。

③ストップウォッチのモード切替ボタンを押すと自動的にオートスタート時間が転送されます。

※転送時はプリンティングストップウォッチはストップウォッチモードにして転送しないと転送されません。

④転送が完了するとストップウォッチの表示がプリンティングストップウォッチ同様になります。

4. プリンターの電源を入れる。

5. 競技車が通過したらLAP/SPLITボタン(左上ボタン)を押す。

6. スプリットタイムがディスプレイに表示される。

7. スプリットタイムが印字される。

8. 全車通過したら、START/STOPボタン(右上ボタン)を押して、ストップウォッチを止める。

9. 以上で時間計測は終了です。プリンター電源スイッチを切る。

Ⅳ. 通常のストップウォッチの使用方法

1. ボタンの説明

中央ボタン:時計表示、ストップウォッチ表示の表示モードの切り替えをします。

右ボタン:ストップウォッチ時、ボタンを押す毎にスタート/ストップになります。

左ボタン:ストップウォッチ時、スタート後に押すとスプリット/スプリット解除になります。
ストップ後に押すと計測のリセットになります。

①計時はストップウォッチのモードで使います。

モードの切り替えは中央ボタンを押し、時刻表示からストップウォッチ表示に変更します。

②受け取り後、速やかに毎正時(00分00秒)になったら、電波時計を基準にストップウォッチをスタート(右ボタンを押す)させます。

毎正時の時間でスタート出来ない場合は、10分毎の00秒でスタートさせます。

最悪、毎分の00秒でもかまいませんが、計時時、分を間違えない様注意して下さい。

※スタートはストップウォッチの表示が0の時、スタートボタンを押すと、計測を開始します。

※表示が0出ないときはリセットしてから、スタートさせます。

③スタート操作が終わりましたら、計時前まで、時刻表示モードにし、ボタンを誤って押してもストップウォッチがストップしない様にして下さい。

2. 計時

ストップウォッチのスプリット表示を利用し、競技車の通過時刻の秒を読みとり、電波時計等で通過時刻の時分を確認します。

①競技車の先端がフィニッシュラインを通過した時に、ストップウォッチの左ボタンを押し、スプリット表示にし、秒を読みとります。同時に他の人が電波時計等で通過時の秒を確認し、照合します。

②また、ストップウォッチのスタート状況により、時分をストップウォッチと電波時計等を併用し読みとります。

③通過時刻を記入表に記入したら、ストップウォッチの左ボタンを押し、スプリットを解除し、次の競技車の通過に備えます。

④速やかに、通過表に記入した通過時刻を、インターホンでストップ地点のオフィシャルに連絡します。

注意:ストップウォッチモードの時は右ボタンを押すと、ストップウォッチの秒が止まってしまうので計時中は右ボタンを誤って押さないよう、注意、保護策の処置をして下さい。